



神奈川県立

# 精神医療センター

平成27年3月

だより

Number

16

## 新しい精神医療センターについて

神奈川県立精神医療センター所長 岩間 久行



■ 平成26年12月1日神奈川県立精神医療センターは本館を完成し、新たなセンター病院となって開院いたしました。これまで長きにわたり多くの方々にご支援ご協力を賜りましたこと、感謝申し上げます。

■ 新たな精神医療センターは現在の精神科医療の変化に対応し、今後の変化にも即応できる体制となっています。精神科救急医療分野ではこれまでと同様に4県市協調の精神科救急医療の基幹病院として中核的な役割を果たしていきます。また、入院患者さんの地域移行を積極的に進めていく体制を作り、救急から治療の流れが円滑に進むよう整備しました。このシステムで入院期間を必要最短にとどめ、治療が患者さんの生活の場である地域中心に進められて行くよう取り組んでいきます。さらに、病気の慢性・重症化を防ぐ取り組みや既に慢性重症化している患者さんに対して高度な医療提供が行えるよう体制の整備もいたしました。

■ 精神科専門領域では、きめ細やかな依存症医療を提供してきたせりがや病院の伝統を引き継ぎ、これまでと同様に丁寧な依存症治療を提供します。ストレスケア部門では、難治なうつ病への治療を提供する他、新たな治療法の開発に引き続き取り組んでいきます。この度新たな専門領域として思春期精神科を新設しました。中学生年齢を中心に12歳から18歳の未成年の患者さんを対象とし、成長を見守りつつ治療を提供していきます。

■ 外来部門では、受診しやすい精神医療センターを目指しています。新患の予約方法も変更しました。インターネットを利用しての予約もできるように整備しました。

■ 現在、外構部門の工事に着手しています。外構工事が終了しますと、再び緑豊かな精神医療センターとなって総合整備が完了します。平成27年度中に完了予定ですので、ご期待下さい。

■ 神奈川県立精神医療センターは、県民のこころの健康を支え、質の高い精神医療を提供することを理念としています。この理念のもとに高度な医療や患者さん中心の安全な医療の提供、地域連携による社会復帰の促進などを基本方針としています。また、人権を尊重する精神医療の提供を最も重視し、日々診療に邁進しているところです。センターが担うべき県立精神病院としての役割を歩みを止めることなく追求し、県民の皆さんに納得していただけることを目指して日々診療にあたっています。

■ 今后にわたって、皆様の一層のご支援ご協力をいただきますようお願いいたします。



# 芹香病院とせりがや病院が1つになり、 神奈川県立精神医療センターに生まれ 変わりました。

「神奈川県立精神医療センター」は、昭和4年の診療開始から85年目の平成26年12月、芹香病院とせりがや病院を統合し、1つの病院として、新しく生まれ変わりました。

精神科救急医療の充実・強化に加え、新病院では、新しく思春期医療を実施するほか、これまで、芹香病院で行ってきた医療観察法医療、難治なうつ病等を対象とするストレスケア医療、さらに、せりがや病院で行ってきたアルコールや薬物等への依存症医療等の専門的な医療を提供するなど、引き続き神奈川県の精神科医療の中心的役割を果たしていきます。



## 一般治療

- 高度ケア (4A病棟 ■ 40床)
- 地域移行支援 (3A病棟 ■ 40床)
- 身体ケア (2A病棟 ■ 35床)

一般精神科として統合失調症や躁うつ病の外来治療に加え、精神科デイケアで外来の患者さんをサポートしています。また、経過の長い統合失調症や躁うつ病の入院患者さん対象の高度ケア病棟、症状が安定した方の社会復帰を支援する地域移行支援病棟、日常生活援助が必要または身体合併症を起こしやすい患者さんを受け入れる身体ケア病棟の各病棟があります。地域と連携して患者さんの地域生活への移行を支援します。

## 精神科救急 (5A・5B病棟 ■ 計70床)

精神科救急医療システムの基幹病院として、関係機関と連携し夜間・深夜・休日の受け入れを行っています。

また、一般の精神科病院では対応困難な専門性の高い急性期の精神疾患にも対応しています。3ヶ月以内の早期社会復帰を目指し短期集中治療を行っています。

重度の患者さんに対し、修正型通電療法 (m-ECT)を行っています。



## 思春期 (新設 4B病棟 ■ 30床)

新たに開棟した思春期病棟は、12歳～18歳（中学生～高校生年代）を対象とし、危機介入を要する患者さんの治療を行います。入院治療では、全室個室で学習室や専用の外部運動場を備えるなど、学習環境も整っています。思春期年代はまだ成長の途上であり、ご家族とともに病状の回復と本人の成長を支援します。

平成27年度からは神奈川県立横浜南養護学校芹が谷分校として院内学級が設置されます。

## ストレスケア (3B病棟 ■ 30床)

うつ病を中心とする気分障害の方を対象とした入院治療を行います。病棟は開放病棟となっており、落ち着いたグリーンカラーで統一され、静かなプライベート空間が提供できるよう、30床全室個室をご用意しています。入院中は、リラクゼーションや睡眠学習会、のびのび体操、アロマテラピー、看護師が主体となって行う「じぶんプログラム」など多彩なプログラムを用意して、日常のストレスとうまく付き合えるようサポートし、患者さんの社会復帰を支援します。



病状によっては退院後も当センターで一定期間継続治療を行い、安定した段階で元の医療機関にお戻りいただく場合もあります。この他にも、外来で週4日、4ヶ月間のリワークプログラムで、復職のために必要な体力の回復・ストレス対応スキルの獲得などを行っています。

また、薬物治療の効果が十分でない単極性うつ病の患者さん対象の反復性経頭蓋磁気刺激法やクロノセラピー(高照度光療法・覚醒療法)、うつ病の患者さん対象の鍼灸(長野式Kiiroスタイル)の臨床研究にも取り組んでいます。

## 依存症 (2B病棟 ■ 45床)

せりがや病院の治療部門を引き継ぎ、アルコール・薬物依存症の治療に当たります。

外来では、新患、再来患者さんの診療を行うと同時に、依存症専門の通院型グループ療法(SMARPP/SARPP)も提供しています。全ての患者さんには主治医だけでなく、精神保健福祉士と外来看護師も担当として付き、積極的に相談をお受けします。

入院では、アルコール・薬物依存症の専門的な入院治療を行い、アルコール・薬物をやめたい方だけでなく、現在、断酒断薬はできても、再発予防のためのリハビリプログラムを受けたい方、依存症の後遺症としての精神症状や、依存症に合併しやすい他の精神障害に苦しんでいる方の検査や治療、休養の場としてもご利用いただけます。



また、依存症研究室を新設し、依存症の心理社会的病態や、より効果的なグループ治療についての調査研究に取り組んでいます。

## 医療観察法 (F病棟 ■ 33床)

「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」(医療観察法)に基づく治療を行う病棟として、平成24年11月に開棟しました。「あい・むきあい・ささえあい」をコンセプトに、多職種チームで対象者の治療開始から社会復帰までを支援します。

### 外来 診療日、診察時間

- 外来診察日** 月曜日～金曜日（祝日、年末年始を除く）
- 診察時間** 午前8時45分～午後5時
- 予約受付時間** 午後8時30分～午後5時
- お持ち頂く書類**
  - 健康保険証
  - 当センター以外の心療内科、精神科等を受診されたことのある方は、受診時に紹介状（診療情報提供書）をお持ちください。

※電話による完全予約制となります。一般精神（ストレスケア・思春期・依存症を除く）はホームページからインターネットで予約することもできます。スムーズに診察が受けられるように、必ず電話あるいはインターネットでご予約のうえ、受診してください。

# 思春期病棟を 新たに開設しました

## 危機介入を要する患者さんの入院治療を行います

対象疾患を限定せず、危機介入を要する患者さんを積極的に治療していきます。地域の医療機関やご家族からの相談に応じ、迅速かつ積極的に患者さんを受け入れます。また、「精神医療は可能な限り地域で行う」の理念を掲げ、入院期間ができるだけ短期となることを目指します。なお、精神科専門病院という性質上、身体管理を要する患者さん(摂食障害、症候性精神障害)については対応できない場合もあります。



## 健康的側面の理解にも努め、患者さんの回復・成長を支援します

思春期年代においては症状が多様性に富み、正確な診断のためには、様々な側面から患者さんを理解することが必要です。思春期年代は、まだ発達の途上であり、それぞれ個人としての発達課題に直面しつつも、成長し続けています。こうした中、成長する過程で欠かせない教育を受ける機会を提供するものとして、平成27年度から神奈川県立横浜南養護学校芦が谷分校（院内学級）がセンター内に設置されます。病理にばかり注目するのではなく、患者さんの健康的な側面も理解するよう努め、その回復・成長を支援する病棟を目指します。

### 思春期病棟施設概要

- 病床数：30床（男女混合、閉鎖病棟 保護室・準保護室5床含む）
- 対象者：12歳～18歳 男女
- フロア：本館4階 4B病棟
  - ・全室個室とし、プライバシーに配慮した快適な療養環境
  - ・建物から出ることなく青空の下で散歩やストレッチ等の軽い運動が行える
  - ・病棟専用の外部運動場を設置
  - ・学習室や全病室に机を配置するなど、学習環境を整備



### 図書室の一般公開に向けて準備中です

ただいま当センター図書室の一般公開の準備を行っています。精神科の専門図書や専門誌の閲覧のみではなく、オンラインジャーナルの公開も検討しています。詳細については決まり次第別途ご連絡いたします。



### 看護師募集

当センターでは、看護師を募集しています。採用試験は次のとおりです。

試験日程	平成27年5月16日（土）	平成27年6月20日（土）	平成27年7月18日（土）
試験会場	神奈川県立精神医療センター（採用は平成28年4月1日となります。）		

※募集締切：概ね試験実施日の1週間前。詳しくは事務局総務課までお問い合わせください。



地方独立行政法人神奈川県立病院機構

神奈川県立精神医療センター

〒233-0006 横浜市港南区芦が谷2-5-1  
TEL 045-822-0241(代) FAX 045-822-0242  
<http://seishin.kanagawa-pho.jp/>